

令和 6 年度 第 5 回甲賀市社会教育委員の会議 定例会議事録(要約)

日時：令和 7 年(2025 年) 3 月 11 日

15 時 00 分～16 時 40 分

場所：あいこうか市民ホール練習室 3

出席者 (委員)西村委員、岡村委員、井ノ口委員、辻委員、古賀委員、東委員、
松本委員、木村委員、福井委員、石田委員、中村尚委員 以上 11 名
(事務局)伊東課長、上村参事、西森補佐、沢井社会教育統括指導員
(公民館長)増山館長、清水館長、井上館長

傍聴者 なし

委員総数 12 名の内、11 名が出席。甲賀市社会教育委員会議規則第 3 条第 2 項の規定により、過半数を満たし会議成立。

1. 開会 市民憲章唱和
2. 課長あいさつ
3. 委員長あいさつ
4. グループ協議 「公民館の現状について」「今後の社会教育のあり方」

グループ分け ○進行、まとめ

A○西村委員 中村尚委員 福井委員 石田委員 増山館長 上村参事

B○岡村委員 古賀委員 東委員 木村委員 井上館長 西森補佐

C○井ノ口委員 松本委員 辻委員 清水館長 沢井社会教育統括指導員

5. グループより報告

A グループ

- ・貴生川まちづくり協議会は小学校 PTA と行事を連携して行う取り組みを進めている。
- ・甲南第二小では学校運営協議会を立ち上げた後、地域学校協働本部を立ち上げる予定。地域との関連はこれから深めていく予定。

B グループ

- ・公民館の活動をどう広めていくか工法の仕方も含めて考えていく必要がある。
- ・広報媒体としては紙媒体もあるが口コミが効果的である。
- ・公民館を一部の人が頻繁に使い、広がりがないのが課題。
- ・公民館の活動と同じような活動を行う団体や自治振興会の活動もあり、それらをつなげていくのが公民館や社会教育指導員の役割になると思われる。
- ・社会教育委員もすべての公民館を知らず、行ったこともないところもあるだろうから、今後この会議を公民館で持ち回りにする方法もあるのではないかな。
- ・夢の学習も多くの講座を開設していただいているので、委員が実際に見てみるの

も必要ではないか。

C グループ

- ・合併前は水口、土山、信楽には、ほぼ小学校区に公民館が開設されていたが、甲賀、甲南は旧町に1館設置されていたという出発点の違いがあったり、現在の自治振興会も活動が様々である。その中で、公民館を中心に社会教育を行うのか、まちづくり協議会を中心に進めるのか今後の公民館のあり方にもかかわってくる。
- ・夢の学習が様々な取り組みを一生懸命やっておられるが、今後地域が中心になっていくためには夢の学習の人材やノウハウが地域に広がっていくことも必要ではないか。
- ・そのためには夢の学習をはじめその他のNPOや行政機関との連絡調整も必要になってくる。
- ・今後の甲賀市の社会教育としては、まちづくり協議会や地域学校協働活動が中心になっていくべきではないか。
- ・今後の会の進め方としては、市民活動推進課の方に来ていただいて、社会教育をどう進めようと考えられているか話を聞いてみる必要があるのではないか。

【グループ協議内で付箋に書かれた意見、キーワード】

- ・竜王町の取り組みと違いが多い。参加費や事業主体等
- ・公民館にどのような年齢層がどれくらいの頻度で参加しているのか
- ・子育て世代の参加の様子は。
- ・利便性の高い公民館はすぐいっぱいになる。ネットでの申し込みができないか。
- ・公民館の現状をもっと知りたい。
- ・夢の学習は種類もたくさんあり楽しそう。
- ・公民館は堅いイメージがある。気軽に利用できる体制を。
- ・公民館は貸館が中心になっていていいのか。
- ・昔の公民館は職員と地域のつながりが、もっとあったように思う。
- ・高齢者の利用が多く、若者が使いにくい。

6. 連絡事項(事務局より)

6月の社会教育委員研修会の資料として、社会教育委員体験記の提出について

配布物の確認 社教情報 No92 近畿社会教育研究大会記録集

次回は5月に予定 内容は、委員長副委員長と協議

7. 副委員長閉会のあいさつ